

2003年版 JASS10 プレキャスト鉄筋コンクリート工事

正誤表

頁	行	誤	正
目次			
1	下から 6行目	4節 <u>接工</u> 計画および施工管理	4節 <u>施工</u> 計画および施工管理
2	上から 1行目	5.3 鉄筋、溶接金網	5.3 鉄筋、溶接金網
本文			
1	下から 2行目 一定期間保管する 一定期間保管する
3	上から 9行目	__それらの部分には	{ブランクを詰める}
15	上から 15行目	c . 部材の吊り上げは	c . 部材の吊上げは
16	下から 6行目 確保されるように <u>組立てる</u> 確保されるように <u>組み立てる</u> .
17	下から		(11.2.1~11.2.6の項番号とアルファベット a .
18	6行目		~ c . をゴシック体にする)
18	下から 15行目 充填コンクリートの <u>打ち込み</u> 箇所に..... 充填コンクリートの <u>打込み</u> 箇所に.....
20	上から 13行目 一度に <u>打込まれる</u> ように 一度に <u>打ち込まれる</u> ように
1節			
34	上から 17行目	<u>主体構造</u> 部材	<u>主要構造</u> 部材
34	上から 19行目	<u>主体構造</u>	<u>主要構造</u> 部材
36	下から 11行目 (本文) 一定期間保管する 一定期間保管する .
2節			
39	下から 6行目	b . <u>これらの</u> 要求性能の	{ <u>これらの</u> を削除する}
41	解説表 2.2 3行目	(等級2)..... 倍の力にして 倍の力に対して
41	解説表 2.2 15行目	(等級1)..... 発生する <u>の</u> 地震 発生する地震
42	上から 3行目	精度をもって <u>組立て</u> ,	精度をもって <u>組み立て</u> ,
46	解説表 2.4	(梁 最上階から数えた階数が15以上の階) <u>2時間</u>	<u>3時間</u>
47	解説表 2.5	(5 屋根 三) 鉄鋼コンクリート、若しくは鉄鋼 モルタルでふいたもの、又は鉄鋼モルタル、鉄材	鉄網コンクリート、若しくは鉄網モルタルでふい たもの、又は鉄網コンクリート、鉄網モルタル、 鉄材
49	上から 6行目 設計基準強度が <u>32N/mm²</u> 以上であり , 設計基準強度が <u>30N/mm²</u> 以上であり ,
3節			
53	上から 1行目	囲 (<u>36 ~ 60N/mm²</u>) を	囲 (<u>36N/mm² を超え 60N/mm² 以下</u>) を

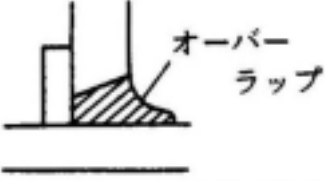

58	下から 3行目 特殊な条件が付加されるため、本仕様書では、その抑制対策は特記されることとした。 特殊な条件が付加されるため、注意が必要である。
59	上から 13行目 通常のセメントを使用する場合 通常のセメントを使用する。
67	解説図 3.3 (タイトル)	(耐久各性上有効な)	(耐久性上有効な)
	解説図 3.3 (左下図 タイトル)	e . 手摺壁部材と片持ち床部材	e . 手すり壁部材と片持床部材
	解説図 3.3 (左下 図中)	片持ち床部材	片持床部材
68	上から 12行目	a . 充填コンクリートが打込まれる	a . 充填コンクリートが打ち込まれる
	上から 13行目 コンクリートが打ち込み量も コンクリートが打ち込み量も
	下から 14行目 部材同土を 部材どうしを
68	下から 5行目	ブリージング	ブリーディング
69	上から 10行目		
70	下から 8行目		
71	上から 7行目		
70	下から 6行目 プレキャスト壁柱部材および柱部材では ...	〔壁柱部材およびを削除〕
4節			
78	上から 2行目 桁行方向が柱(壁柱)と梁による 桁行方向が壁柱と梁による
	解説図 4.3 (左図)	a) プレキャスト柱(壁柱)建方	a) プレキャスト壁柱建方
79	上から 2行目 一部に連層耐力壁を併用した 一部に耐力壁を併用した
	解説図 4.4	床版組立て	床板組立て
	下から 9行目 鉄骨鉄筋コンクリート造建物を構成する 鉄骨鉄筋コンクリート造建築物を構成する
	下から 8行目 工程が壁式プレキャスト工法の工程と 工程がRPC工法の工程と
	下から 6行目 鉄骨の柱や梁に高力ボルトなどで 鉄骨の柱に高力ボルトなどで
	下から 5行目 鉄骨柱の接合部の溶接を完了させて 鉄骨柱の接合を完了させて
	下から 2行目 高層住宅の施工に多く用いられ	〔の施工を削除する〕
81	解説表 4.1 (上から 5段目)	クローラクレーン	クローラクレーン
	解説表 4.1 建物 建築物

	(右欄)		
82	上から 5行目 かなり高層の <u>建物</u> でも かなり高層の <u>建築物</u> でも
	上から 17行目 <u>することを禁止されている</u> <u>することが禁止されている</u>
	下から 17行目 <u>建設敷地の形状</u> などの <u>現場敷地の形状</u> などの
83	上から 2行目 モルタルの練り混ぜや, モルタルの練混ぜや,
5節			
87	下から 6行目 (本文)		{ 3文字下げ: 下から4, 2, 1行目も同じ }
89	解説表 5.2	単位容積質量 (kg/L)	単位容積質量 (kg/l)
90	下から 7行目 <u>繰返しによる耐久性</u> が <u>繰返しに対する耐久性</u> が
91	上から 6行目	<u>(1)</u> 人工軽量骨材は,	{ <u>(1)</u> を削除 }
	上から 6行目 <u>かつ建設省 ~ により</u> , <u>かつ JASS5 T-204 (人工軽量骨材の性能判定規準)</u> により,
	上から 10行目 <u>上記通達に定められた調合記号Aのコンクリート</u> として, <u>上記基準におけるコンクリート</u> とし,
92	上から 12行目 <u>“短期”および“標準”</u> の	{ <u>“短期”および</u> を削除 }
98	解説表 5.13	(JIS Z 3312) <u>マグ溶接用ソリッド</u> <u>マグ溶接ソリッド</u>
98	解説表 5.13	(JIS Z 3313) <u>低温鋼用アーク溶接</u> <u>低温用アーク溶接</u>
	下から 8行目 <u>部材を吊上げて運搬・移動</u> する <u>部材を吊り上げて運搬・移動</u> する
	下から 7行目 <u>吊上用フック</u> など <u>吊上げ用フック</u> など
7節			
124	解説図 7.1	製品吊上	製品吊上げ
	解説図 7.1	部品取付	部品取付け
	解説図 7.1	シート掛	シート掛け
127	解説図 7.2	(埋込物)	(先付け部品)
132	解説表 7.1 (1段目)	スランプ又はスランプフロ ²⁾	{ <u>スランプフロー</u> にアンダーラインをする }
	解説表 7.1 (7段目)		{ <u>舗装コンクリートの欄</u> を削除する }
	解説表 7.1 ([注]) <u>アンダーライン部</u> が追加 <u>アンダーライン部</u> が追加 <u>軽量コンクリート</u> における粗骨材の最大寸法 20mm およびスランプ 21cm は削除
133	上から 3行目 <u>スランプ</u> と呼び強度 <u>スランプ</u> または <u>スランプフロー</u> (以下, <u>スランプ等</u> という)と呼び強度
	上から 4行目 <u>スランプ</u> と呼び強度 <u>スランプ等</u> と呼び強度
	上から 13行目	・単位水量とスランプの関係	・単位水量とスランプ等の関係

	上から 18行目 呼び強度とスランプの組合せ 呼び強度とスランプ等の組合せ
141	解説図 7.11 (左図)		〔部材表面部の矢印を、上から2番目の温度履歴の位置に訂正〕
144	上から 10行目 (本文)	c . 部材の吊り上げは、.....	c . 部材の吊上げは、.....
148	下から 9行目	(イ) <u>ポリマーセメントペースト</u> の場合	(イ) <u>メンテペースト</u> の場合
	下から 8行目	<u>ポリマーセメントペースト</u> に使用する	<u>メンテペースト</u> に使用する
149	上から 7行目	・ <u>プレミックスポリマーセメントペースト</u> および <u>プレミックスポリマーセメントモルタル</u>	・ <u>メンテペースト</u> および <u>初期補修用プレミックス ポリマーセメントモルタル</u>
9節			
157	上から 8行目	<u>運搬時の部材ひび割れ破損変形を防止する</u>	<u>運搬時の部材のひび割れ、破損、変形などを防止する</u>
162	上から 15行目 突出している <u>打込み</u> 金物や 突出している <u>埋込</u> 金物や
163	上から 13行目	<u>梁部材</u> は、.....	<u>梁部材</u> は、.....
163	下から 8行目 汚れ防止対策や、 <u>打込み</u> 接合用金物の 汚れ防止対策や、 <u>埋め込まれた</u> 接合用金物の
10節			
164	上から 4行目 (本文) 確保されるように組立てる 確保されるように組み立てる .
	上から 7行目 良好な <u>建物</u> を構築するうえで 良好な <u>建築物</u> を構築するうえで
	上から 9行目 現場における <u>建物</u> の品質を 現場における <u>建築物</u> の品質を
165	上から 5行目 組立て作業に必要な <u>打ち込み</u> 仮設金物や 組立て作業に必要な <u>埋込み</u> 仮設金物や
166	解説図 10.2 (右から 4 枠目)	<u>柱壁接合部</u>	<u>壁柱壁接合部</u>
167	解説図 10.4 (右から 7 枠目)	<u>床部材建方調整</u>	<u>床部材組立て調整</u>
170	上から 3行目 良質の <u>建物</u> を構築する 良質の <u>建築物</u> を構築する
	上から 7行目	<u>14.7の部材の組立て精度に基づき</u> 、.....	<u>14.7「部材の組立て精度の検査」に基づき</u> 、
	上から 8行目 当該 <u>建物</u> の用途 当該 <u>建築物</u> の用途
	上から 17行目	~ <u>管理の対象</u> とる .	~ <u>管理の対象</u> となる .
	下から 12行目 柱、壁部材の <u>建て入れ</u> 調整を 柱、壁部材の <u>建入れ</u> 調整を
	下から 11行目 示す項目は、 <u>組立て</u> られた躯体と 示す項目は、 <u>組み立て</u> られた躯体と
	下から 4行目 したがって <u>組立て</u> られた各部材ごとの したがって <u>組み立て</u> られた各部材ごとの ...
172	下から 6行目	これらの仮設は、 <u>取扱う部材重量</u>	これらの仮設は、 <u>取り扱う部材重量</u>

	下から 1行目	解説図 10.5 にWRPC工法で行う ……	解説図 10.5 にプレキャスト工法で行う ……
175	下から 1行目	…… 解説図 <u>10.9 ~ 10.12</u> に示す ……	解説図 <u>10.7 ~ 10.10</u> に示す ……
176	下から 4行目	…… 解説図 <u>10.7</u> および……	…… 解説図 <u>10.11</u> および ……
	下から 2行目	…… 解説図 <u>10.8</u> に、……	…… 解説図 <u>10.12</u> に、……
177	解説図 10.9 (タイトル)	解説図 <u>10.9</u> ……	解説図 <u>10.7</u> ……
178	解説図 10.10 (タイトル)	解説図 <u>10.10</u> ……	解説図 <u>10.8</u> ……
179	解説図 10.11 (タイトル)	解説図 <u>10.11</u> ……	解説図 <u>10.9</u> ……
180	解説図 10.12 (タイトル)	解説図 <u>10.12</u> ……	解説図 <u>10.10</u> ……
182	解説図 10.7 (タイトル)	解説図 <u>10.7</u> ……	解説図 <u>10.11</u> ……
	解説図 10.8 (タイトル)	解説図 <u>10.8</u> ……	解説図 <u>10.12</u> ……
	解説図 10.8	ポイントスケール 風防さげふり ピーコック	(いずれも商品名なので、削除)
186	下から 4行目	…… サイクル工程として繰返しておこなわれる ……	…… サイクル工程として繰り返しておこなわれる ……
187	上から 8行目	…… テープ状 <u>シート</u> の敷き込み： ……	…… テープ状 <u>シール材</u> の敷き込み： ……
	上から 9行目	…… 敷きモルタル ……	…… 敷モルタルの ……
	上から 10行目		
	解説図 10.13 (最上枠)	・テープ状 <u>シート</u>	・テープ状 <u>シール材</u>
188	上から 5行目 6行目 解説図 10.14	柱	壁柱
194	下から 4行目	…… 検査行程を ……	…… 検査 <u>工程</u> を ……
11節			
195	上から 8行目	…… 部材間に敷モルタルまたは ……	…… 部材間の敷モルタルまたは ……
198	下から 2行目	…… 「PC工法住宅溶接技術検定における試験方法及び判定基準 (WES 8105-1987)」 ……	…… 「PC工法溶接技能者の資格認証基準 (WES 8105-1998)」 ……
202	解説表 11.7 (種別)	(5行目)	(SS400とSN400Bの順序を逆にする。)
202	解説表 11.7 (種別)	(6行目)	(SM490AとSN490Bの順序を逆にする。)

202	解説表 11.7 (種別)	(5 列目)	(S S 400 と S N 400 B の順序を逆にする。)
202	解説表 11.7 (種別)	(6 列目)	(S M 490 A と S N 490 B の順序を逆にする。)
207	解説表 11.9		{ S I 単位に? }
208	解説表 11.10		{ S I 単位に? }
209	上から 9 行目 (本文) 充填コンクリートの打ち込み箇所に 充填コンクリートの打ち込み箇所に
212	解説図 11.12		{ 縦軸 0 の位置修正 }
12節			
218	上から 10行目 コンクリートが打ち込まれて硬化する コンクリートが打ち込まれて硬化する
	上から 11行目 堅固に組立て、..... 堅固に組み立て、.....
	下から 2 行目 埋め込まれた鉄筋同士もしくは 埋め込まれた鉄筋どうしもしくは
	解説図 12.2		{ スリーブ下に横補強筋追加 }
219	解説図 12.3		{ 直ジョイント方式に変更 }
220	下から 8 行目 コンクリートを打込んでしまうと コンクリートを打込んでしまうと
221	解説図 12.5	<u>縦筋</u>	<u>スリーブ継手接合用鉄筋</u>
	解説図 12.5		{ フック形状訂正 }
222	下から 2 行目	上部に部材が取付くコンクリートの	上部に部材が取り付くコンクリートの
223	下から 12行目 プレキャスト部材と取合うことを プレキャスト部材と取り合うことを
	下から 8 行目 部材と取合う型枠は 部材と取り合う型枠は
	下から 4 行目 部材と取合う現場打ち 部材と取り合う現場打ち
224	下から 9 行目 (本文) 一度に打ち込まれるように 一度に打ち込まれるように
225	上から 6 行目 コンクリートの打ち継ぎ面に..... コンクリートの打ち継ぎ面に
	上から 10行目 その部分に打ち込む現場打ち..... その部分に打ち込む現場打ち
	上から 12行目 一度に打ち込まれるように..... 一度に打ち込まれるように
	上から 13行目 打ち込みの時間間隔が..... 打ち込みの時間間隔が
	下から 10行目 同時に打ち込むような..... 同時に打ち込むような
	下から 5 行目 注意して打ち込み、..... 注意して打ち込み、.....
	下から 3 行目	物類が埋め込まれる部分は	物類が埋め込まれる部分は

	下から 3行目 十分注意して <u>打込み</u> , 十分注意して <u>打ち込み</u> ,
13節			
234	解説図 13.3 (タイトル)	JIS 5758-1997	JIS <u>A</u> 5758-1997
14節			
250	解説図 14.1		[図中の??を削除]
255	下から 4行目 (八) 突出する鉄筋の位置・長さ (八) 突出する鉄筋の位置・長さ・ <u>形状</u> ...
257	解説図 14.5		[[柱]の脚部および頭部ならびに[梁]の上端の上側の ε を ε' に訂正]
	解説図 14.7		[耐力壁立面図の右上に寸法 c を追加]
258	解説図 14.9		[水糸の引出し線を水糸と結ぶ]
	解説図 14.11		[水糸の引出し線を水糸と結ぶ]
259	下から 12行目 はけ引き <u>仕上げ面</u> については はけ引き <u>仕上面</u> については
267	解説表 14.3	(欠陥の種類 アンダーカット) 	

赤字・・・必ず修正する必要があるもの（優先度 - 高）

黒字・・・可能であれば修正した方がよいもの（優先度 - 中）